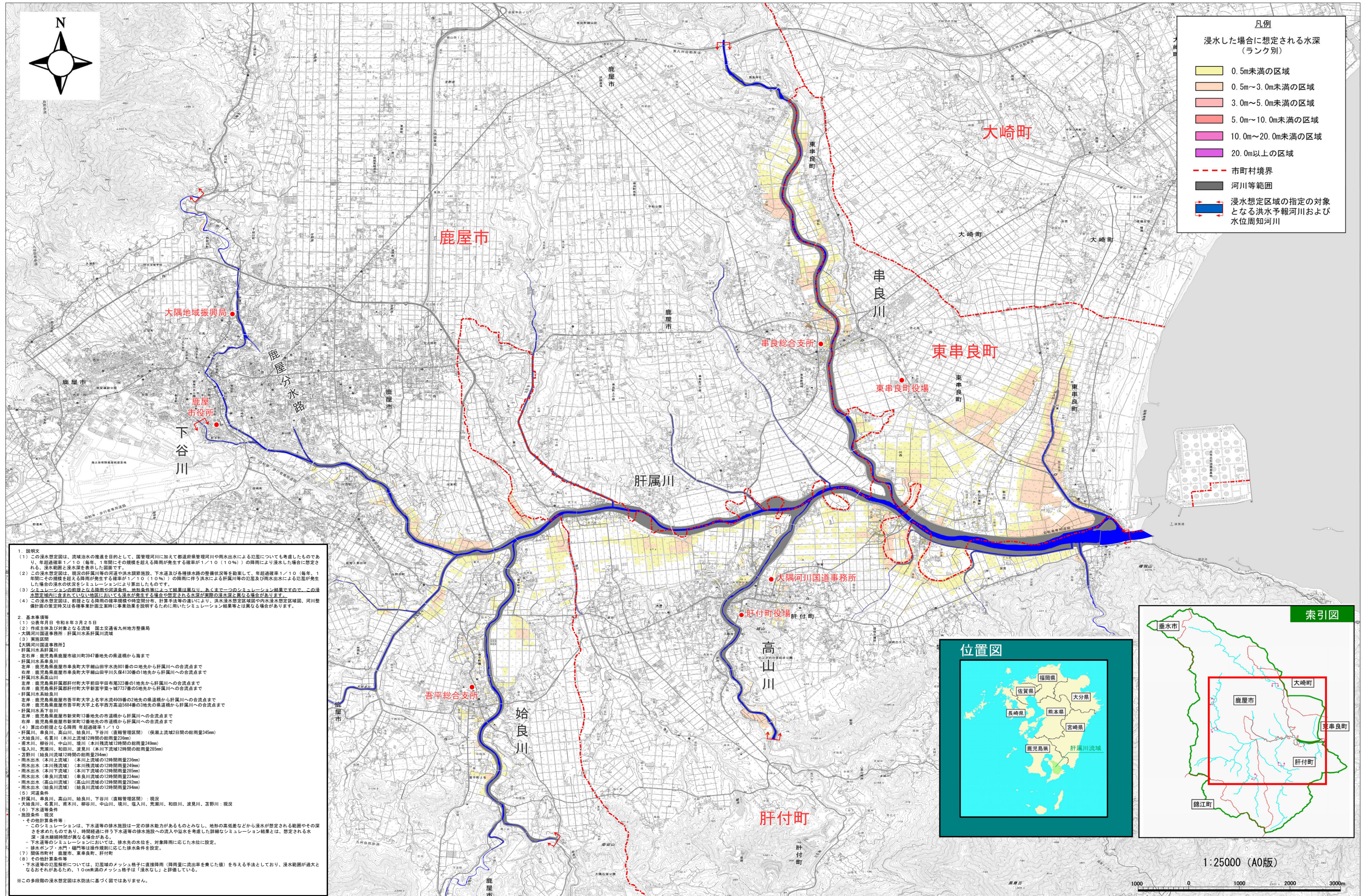


肝属川水系内外水統合の浸水想定図（1/10規模降雨）【現況河道】



凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

--- 市町村境界

■ 河川等範囲

■ 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10（10%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深さを表示した図面です。

(2) この浸水想定図は、現況の肝属川等の河運や洪水調節施設、下水道及び各種排水施設の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10（10%））の降雨に伴う洪水による肝属川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況シミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河運条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する可能性や想定される浸水深と異なる場合があります。

(4) この浸水想定図は、前提となる降雨の発生確率や河運条件、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域や洪水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を示すために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項

(1) 公表年月日 令和8年3月25日

(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省九州地方整備局
大隅河川国道事務所・肝属川水系肝属川流域

(3) 実施区域
【大隅河川国道事務所】
肝属川水系肝属川
左岸：鹿児島県鹿屋市緑川町3947番地先の県道橋から海まで
肝属川水系串良川
左岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字細山田字水先801番の口地先から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字細山田字久保410番の口地先から肝属川への合流点まで
肝属川水系高山川
左岸：鹿児島県肝属郡肝付町大字前田字布屋323番の1地先から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県肝属郡肝付町大字前田字宇城773番の5地先から肝属川への合流点まで
肝属川水系始良川
左岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字上名字水先404番の2地先の県道橋から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字上名字水先554番の地先の県道橋から肝属川への合流点まで
肝属川水系下谷川
左岸：鹿児島県鹿屋市新栄町13番地先の市道橋から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県鹿屋市新栄町12番地先の市道橋から肝属川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/10
大隅川、名貴川（本川上流域12時間の総雨量236mm）
南木川、柳谷川、中山川、瑠川（本川下流域12時間の総雨量249mm）
塩入川、荒瀬川、和田川、渡見川（本川下流域12時間の総雨量285mm）
吉野川（始良川流域12時間の総雨量236mm）
南木川（本川上流域）（本川上流域の12時間雨量236mm）
南木川（本川下流域）（本川下流域の12時間雨量249mm）
南木川（本川下流域）（本川下流域の12時間雨量265mm）
南木川（串良川流域）（串良川流域の12時間雨量234mm）
南木川（高山川流域）（高山川流域の12時間雨量292mm）
南木川（始良川流域）（始良川流域の12時間雨量294mm）

(5) 河運条件
肝属川、串良川、高山川、始良川、下谷川（管轄管理区域）：現況
大隅川、名貴川、南木川、柳谷川、中山川、瑠川、塩入川、荒瀬川、和田川、渡見川、吉野川：現況

(6) 下水道等条件
施設条件：現況

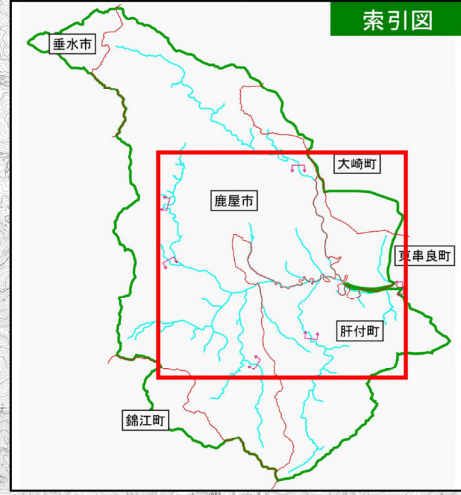
その他の計算条件等
このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。

下水道等のシミュレーションにおいては、排水の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

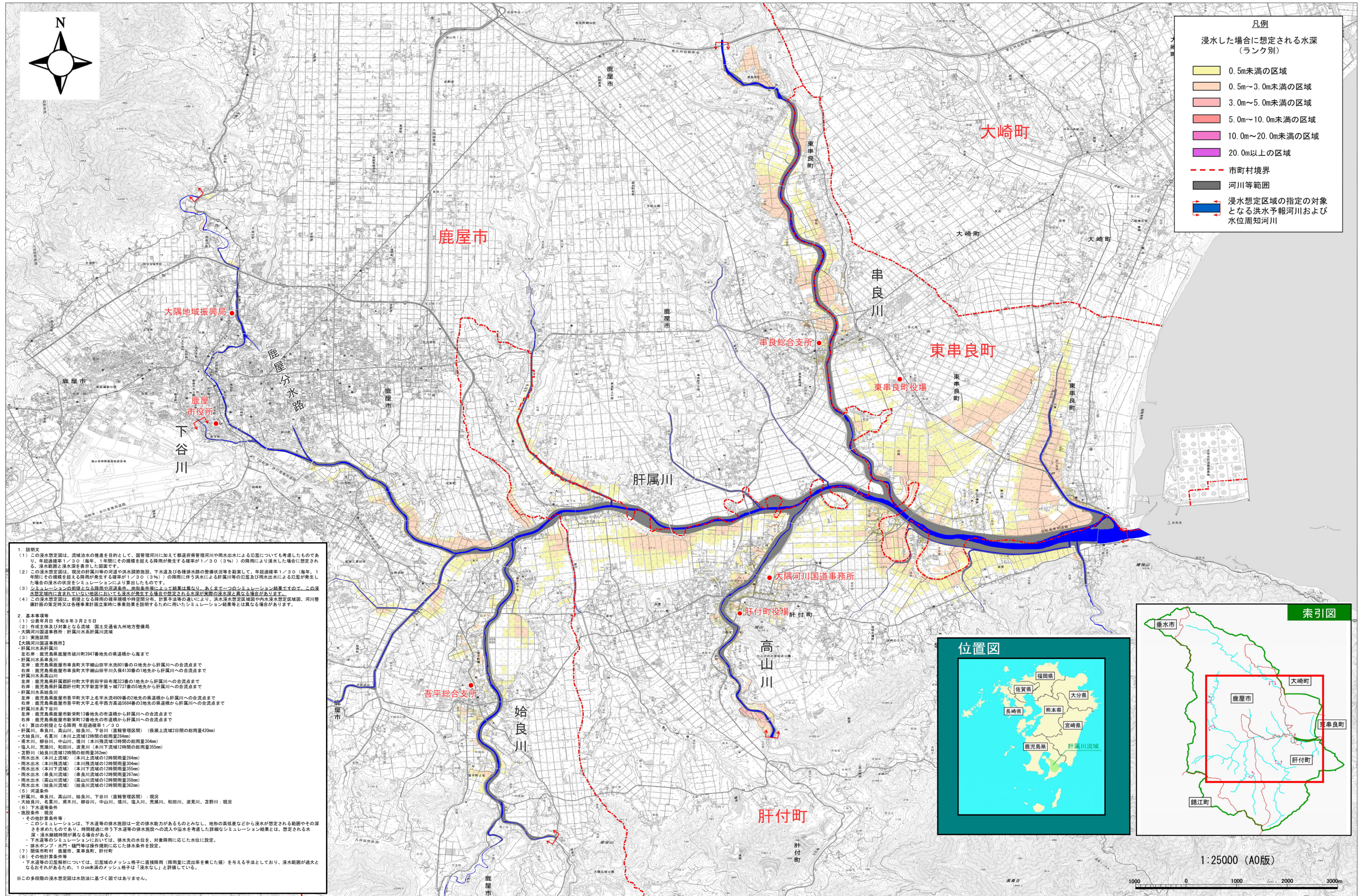
(7) 関係河川村 鹿屋市、東串良町、肝付町

(8) その他計算条件等
下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、1.0cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。



肝属川水系内外水統合の浸水想定図（1/30規模降雨）【現況河道】



凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

--- 市町村境界

■ 河川等範囲

■ 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30（3.3%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を示した図面です。

(2) この浸水想定図は、現況の肝属川等の河運や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30（3.3%））の降雨に伴う洪水による肝属川等の氾濫及び雨水水による氾濫が発生した場合の浸水状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河運条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する可能性や想定される浸水深と異なる場合があります。

(4) この浸水想定図は、前提となる降雨の発生規模や発生期間が、計算手法等の違いにより、洪水発生想定区域や洪水発生想定区域、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を検討するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項

(1) 公表年月日 令和8年3月25日

(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省九州地方整備局
大隅河川国道事務所・肝属川水系肝属川流域

(3) 実施区域
【大隅河川国道事務所】
肝属川水系肝属川
左岸岸：鹿児島県鹿屋市緑川町3947番地先の県道橋から海まで
肝属川水系串良川
左岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字船山田宇水801番の口地先から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字船山田宇水4130番の口地先から肝属川への合流点まで
肝属川水系高山川
左岸：鹿児島県肝属郡肝付町大字前田宇布尾323番の1地先から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県肝属郡肝付町大字前田宇布尾773番の6地先から肝属川への合流点まで
肝属川水系始良川
左岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字上名宇波409番の2地先の県道橋から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字上名宇波594番の地先の県道橋から肝属川への合流点まで
肝属川水系下谷川
左岸：鹿児島県鹿屋市新宮町13番地先の市道橋から肝属川への合流点まで
右岸：鹿児島県鹿屋市新宮町12番地先の市道橋から肝属川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/30
肝属川、串良川、高山川、始良川、下谷川（管轄管理区域）（保瀬上流域2日間の総雨量420mm）
大隅川、名貴川、南木川、柳谷川、堀川、堀入川、荒瀬川、和田川、渡見川、吉野川：現況
南木川、柳谷川、中山川、堀川（本川流域12時間の総雨量284mm）
堀入川、荒瀬川、和田川、渡見川（本川流域12時間の総雨量355mm）
吉野川（始良川流域12時間の総雨量284mm）
雨水出水（本川上流域）（本川上流域の12時間雨量284mm）
雨水出水（本川下流域）（本川下流域の12時間雨量304mm）
雨水出水（本川下流域）（本川下流域の12時間雨量355mm）
雨水出水（串良川流域）（串良川流域の12時間雨量267mm）
雨水出水（高山川流域）（高山川流域の12時間雨量358mm）
雨水出水（始良川流域）（始良川流域の12時間雨量362mm）

(5) 河運条件
肝属川、串良川、高山川、始良川、下谷川（管轄管理区域）：現況
大隅川、名貴川、南木川、柳谷川、堀川、堀入川、荒瀬川、和田川、渡見川、吉野川：現況

(6) 下水道条件
施設条件：現況

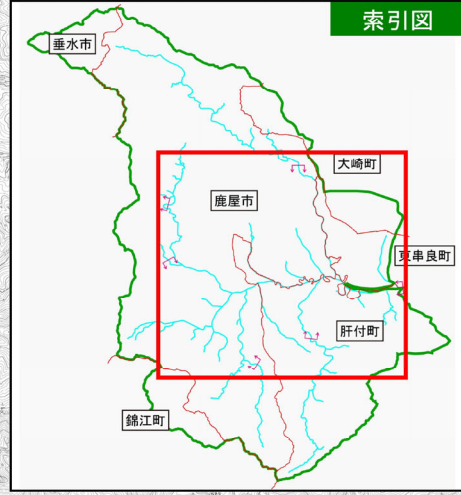
その他の計算条件等
このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間異なる場合があります。

下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
- 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

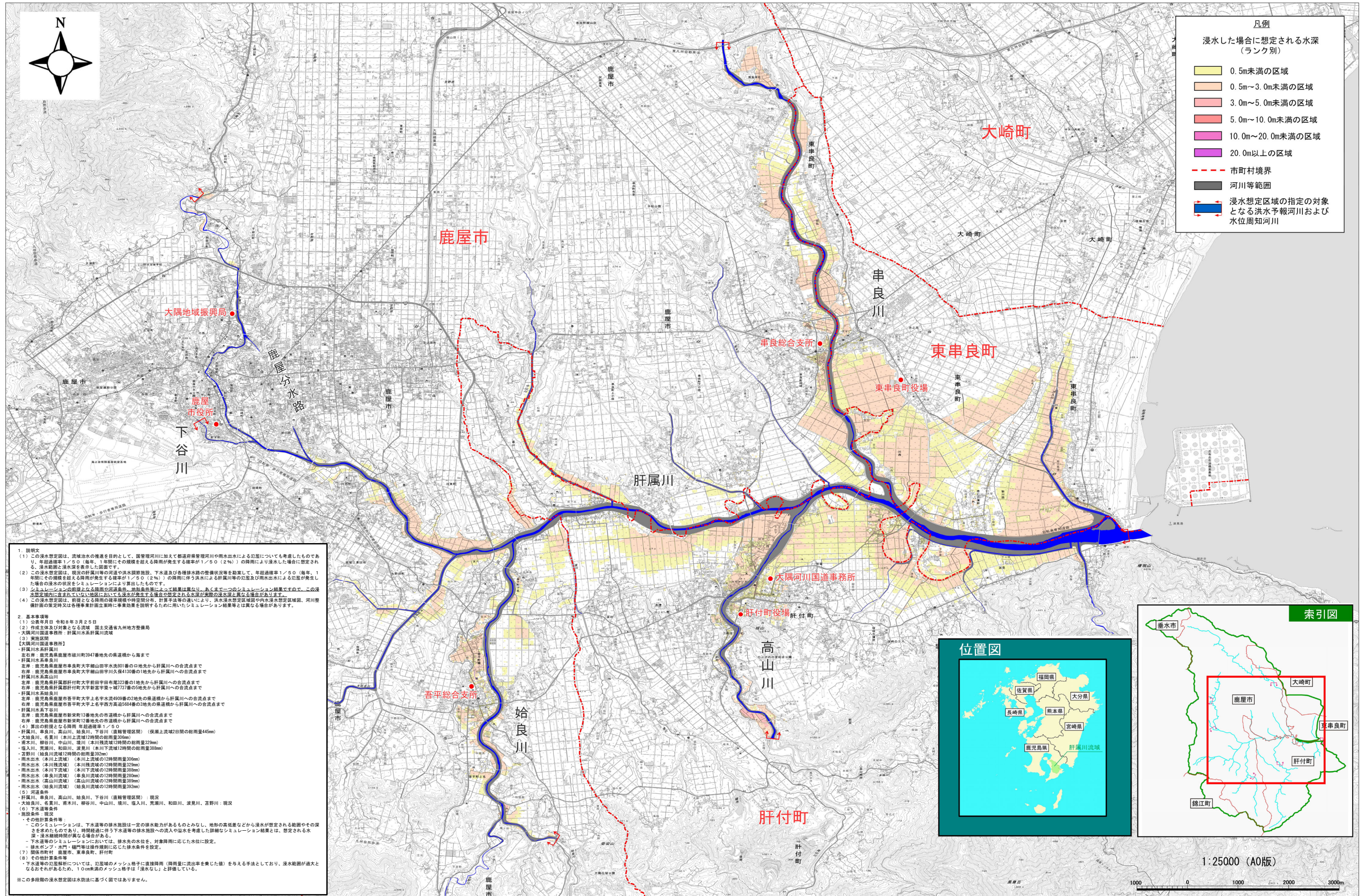
(7) 関係河川村 鹿屋市、東串良町、肝付町

(8) その他計算条件等
下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、1.0cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。



肝属川水系内外水統合の浸水想定図（1/50規模降雨）【現況河道】



1. 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50（2%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定図は、現況の肝属川等の河運や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50（2%））の降雨に伴う洪水による肝属川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河運条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する可能性や想定される浸水深と異なる場合があります。

(4) この浸水想定図は、前提となる降雨の降雨量や空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域や洪水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項

(1) 公表年月日 令和8年3月25日

(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省九州地方整備局
大隅河川国道事務所：肝属川水系肝属川流域

(3) 実施期間
【大隅河川国道事務所】
・肝属川水系肝属川
左岸岸：鹿児島県鹿屋市緑川町3947番地の1地先から海まで
右岸岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字細山田宇水801番の1地先から肝属川への合流点まで
・肝属川水系高山川
左岸岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字細山田宇水4130番の1地先から肝属川への合流点まで
右岸岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字前宮宇水7473番の5地先から肝属川への合流点まで
・肝属川水系始良川
左岸岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字上名宇水409番の2地先の合流点から肝属川への合流点まで
右岸岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字上名宇水564番の1地先の合流点から肝属川への合流点まで
・肝属川水系下谷川
左岸岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字上名宇水409番の2地先の合流点から肝属川への合流点まで
右岸岸：鹿児島県鹿屋市串良町大字上名宇水564番の1地先の合流点から肝属川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 年超過確率1/50
・大隅川流域（本川上流域12時間の総雨量206mm）
・南木川、柳谷川、中山川、瑞川（本川下流域12時間の総雨量329mm）
・塩入川、荒瀬川、和良川、渡良川（本川下流域12時間の総雨量389mm）
・吉川（始良川流域12時間の総雨量306mm）
・雨水出水（本川上流域）（本川上流域の12時間雨量306mm）
・雨水出水（本川下流域）（本川下流域の12時間雨量329mm）
・雨水出水（串良川流域）（串良川流域の12時間雨量280mm）
・雨水出水（高山川流域）（高山川流域の12時間雨量389mm）
・雨水出水（始良川流域）（始良川流域の12時間雨量392mm）

(5) 河運条件
・肝属川、串良川、高山川、始良川、下谷川（管轄管理区域）：現況
・大隅川、名貴川、南木川、柳谷川、中山川、瑞川、塩入川、荒瀬川、和良川、渡良川、吉野川：現況

(6) 下水道等条件
・施設条件：現況

・その他計算条件
・このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や雨水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される浸水深・浸水継続時間が異なる場合があります。

・下水道等のシミュレーションにおいては、排水の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
・排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

(7) 関係河川村 鹿屋市、東串良町、肝付町

(8) その他計算条件
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と設定している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

